

# ◆実践問題45◆

道信の中將の、<sup>1</sup>かい<sup>Q</sup>山吹の花を持ちて、上の御局と

いへる所を過ぎけるに、<sup>2</sup>な<sup>3</sup>女房達、あまたゐこぼれ

て、<sup>1</sup>は<sup>Q</sup>「さるめでたき物を持ちて、ただに過ぐるやう

やある」と言ひかけたりければ、もとよりやまう

けたりけむ、

は<sup>1</sup>梶子

くちなしにちしほやちしほ染めてけり

口無し

と言ひて、さし入れたりければ、<sup>Q</sup>若き人々、え取ら

ざりければ、奥に、<sup>3</sup>伊勢大輔がさぶらひけるを、

「あれとれ」と宮の仰せられければ、<sup>4</sup>うけたまは

りて、一間が程を、ゐざり出でけるに、思ひ寄り

て、

こはえもいはぬ花の色かな

- 1回目
- 2回目
- 3回目
- 4回目
- 5回目

とこそ、付けたりけれ。<sup>5</sup>これを、<sup>S</sup>上聞こし召して、

「大輔なからましかは、恥がましかりける事かな

とぞ、仰せられける。